

骨シンチ検査 説明文書

薬を注射して全身の骨の状態を調べる検査です。

【検査の流れ】

午前中に注射をして、午後に撮影をします。

（午後の撮影時間は、注射時にお伝えします。）

＊撮影時は検査着に着替えて頂く場合があります。

＊取り外せる金属類は外して頂きます。

【検査時間】

注射時に 30 分程度、撮影時間は 30 分～40 分程度かかります。

＊検査台に仰向きに寝ていただくので、痛みが強い場合は相談してください。

【食事・前処置】

食事制限はありません。

より良い検査のため、撮影直前に排尿していただきます。

＊外来の方は、空き時間に院外に出ても構いません。

【検査料金】

検査にかかる料金の目安は以下の通りです。（検査の料金のみ・再診料等は除く）

☐ 外来・3割負担の方：約 17,000 円 程度

☐ 外来・1割負担の方：約 6,000 円 程度

【注意事項】

この検査のために院外より高額な薬を取り寄せます。

取り置きが出来ない薬剤です。

都合で来られなくなった場合は、必ず前日正午までに下記連絡先へご連絡ください。

【連絡先】

浜松医療センター：053-453-7111（代表）

核医学検査室直通：053-451-2721（平日 8:30～17:00）

核医学検査を受けられる方へ（核医学検査における放射線被ばくについて）

① 核医学検査と当院の取り組み

1. 核医学検査で使用する放射性医薬品は、特定の臓器や組織に集まりやすい性質をもっています。核医学検査ではこの性質を利用して画像を作成しており、病気の発見や治療に必要不可欠です。
2. 医師が検査をすることで得られる有益性が、放射線を受けることによる危険性を上回ると判断する場合のみ検査を行っています。
3. 当院では学会の基準を守り、できる限り少ない放射線で安全に検査が実施できるよう努めています。その取り組みにより、日本診療放射線技師会より「医療被ばく低減施設」に認定されています。

② 核医学検査で使用する放射線による影響

1. 放射線の量のことを「線量」といい、単位を mGy（ミリグレイ）で表します。
2. 放射線による影響として発がんや不妊などが報告されていますが、受けた線量によって影響は異なります。
3. 当院では核医学検査ごとに標準体型における組織・臓器が受ける被ばく線量を把握しており、すべての検査において 200mGy を下回っていることを確認しています。
4. 200mGy を下回る被ばくでは、胎児への影響のみ考慮し、その他の影響はないと予想されます（日本放射線公衆安全学会）。
5. 実施された核医学検査の被ばく線量は検査ごとに適切に管理、保存しています。

③ 代表的な核医学検査における被ばく線量

（2016 年現在）

核医学検査	被ばく線量(mGy)			
	最大線量（部位）	骨髓	生殖腺（女性）	生殖腺（男性）
骨シンチ	49.2（膀胱）	6.2	3.8	2.5
ガリウムシンチ	23.9（大腸）	23.9	9.3	6.4
運動負荷心筋シンチ〔テクネ〕	25.3（胆嚢）	3.1	6.6	2.6
薬剤負荷心筋シンチ〔タリウム〕	54.7（腎臓）	12.5	13.7	20.5
アシアロシンチ	17.0（胆嚢）	1.4	2.6	0.3
甲状腺シンチ〔テクネ〕	16.8（大腸）	1.1	3.0	0.8

④ 妊娠中の被ばく

妊娠中に被ばくをしても 100mGy 未満の胎児線量であれば安全が確立されており、国際放射線防護委員会によって、線量が少なければ妊娠中絶の理由にはならないことが明記されています。

以上より、安心して核医学検査をお受けください。

また、妊娠中の方、ご不明な点がある方は各診療科職員にご相談ください。

令和 3 年 3 月
浜松医療センター